

第3次府中市公共施設マネジメント推進プラン（案）に対するパブリック・コメント手続の実施結果

1 意見の提出期間

令和3年11月22日（月）から12月21日（火）まで

2 意見の提出者数等

提出者数	件数	意見の提出方法別の人数				
		Eメール	FAX	郵送	意見投函箱	窓口
2人	3件	1人	1人	0人	0人	0人

3 意見の概要と意見に対する市の考え方

No.	意見の種類	意見の概要	市の考え方
1	第1次及び第2次府中市公共施設マネジメント推進プランにおける取組	これまでの取組のうち、計画的保全の取組に賛同する。 施設全体の効果的な維持管理を行う上で、光熱水費を含めたライフサイクルコストが適正となるよう取り組むことが重要であると考える。 ガス・電気料金とも原料費・熱量費の変動リスクがあり、電気料金等の値上がりは、ライフサイクルコストを上昇させるリスクの一つとなっている。また、電気使用量の増加により設備投資の費用が増加することも考えられる。ライフサイクルコストの適正化をするためには、ガス・電気といった公共施設に関するエネルギーの効率化が重要である。	今後、公共施設に係る費用の増加が見込まれている中で、ライフサイクルコストの低減は非常に重要であると捉えています。 公共施設に係る様々なエネルギーの活用については、市民の皆様に安心・安全に施設を利用していただくことや、環境に対する配慮を行った上で、より効率的な手法を検討してまいります。

No.	意見の種類	意見の概要	市の考え方
2	第1次及び第2次府中市公共施設マネジメント推進プランにおける取組	<p>これまでの取組を踏まえた課題の整理のうち、施設規模・機能の見直しに賛同する。</p> <p>災害時には、働く職員や避難された市民の方へ安全で安心かつ日常生活に近い環境を提供することや、大規模停電に対する備えとして、災害時のみならず、通常時においても活用できる高効率なエネルギーの導入を検討し、電源の自立化・多重化によるエネルギーの確保を図ることが重要である。</p> <p>防災・減災対策との横断的連携により、日常的に使用する施設を平常時だけでなく災害時等の非常時においても利活用できるよう整備していくなど、多角的な視点から柔軟な考えを取り入れていく必要がある。</p>	<p>公共施設は、災害時には避難所などの重要な役割を担っています。</p> <p>公共施設の多くは、既に避難所機能を有して整備をしていますが、今後、施設の老朽化に伴う更新等が増えていくことが見込まれるため、更新に当たっては、エネルギーに関することも含め、様々な視点から施設の在り方を検討した上で、施設の整備を進めてまいります。</p>
3	市営住宅に係る取組について	市営住宅について、更新時期を迎える住宅については建て替え・廃止の検討を進めるとのことだが、今後の取組について情報がほしい。	<p>市営住宅については、令和2年度に策定した府中市営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的に修繕等を行っておりますが、更新時期を迎える住宅もあることから、今後、建て替えや廃止について検討を進め、令和6年度を目指して計画を策定する予定です。</p> <p>市営住宅に係る取組も含め、公共施設マネジメントの取組については、市ホームページ、広報、SNSなどを活用し、随時情報を発信してまいります。</p> <p>また、取組を進めるに当たっては、公共施設全体を取りまく課題を市民と市の双方が十分に理解した上で、必要な情報を共有しながら、共に進めてまいります。</p>